

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場取引所 大

上場会社名 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

コード番号 8462 URL <http://www.fvc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今庄 啓二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部管掌 (氏名) 鈴木 智久

TEL 075-257-2511

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	170	39.7	△247	—	△263	—	△44	—
24年3月期第2四半期	121	△43.4	△451	—	△465	—	△55	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △279百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △476百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△726.78	—
24年3月期第2四半期	△1,183.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	6,000	4,920	4.4
24年3月期	6,434	5,297	4.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 265百万円 24年3月期 310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の配当については、未定とさせていただきます。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

当社は、その事業特性から株式市場の影響を強く受け、また投資損失引当金繰入額・強制評価損等が業績に与える影響が大きいため、業績予想を合理的に行うことは困難であります。したがって、業績予想は行わず、決算後可能な限り迅速な開示をすることといたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) フューチャー二号投資事業有限責任組合

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	61,259 株	24年3月期	61,259 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	12 株	24年3月期	12 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	61,247 株	24年3月期2Q	61,247 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(四半期決算捕捉説明資料の入手方法について)

四半期決算捕捉説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社Webサイトにも掲載する予定です。また、平成24年11月30日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定であり、当日使用する説明資料は、開催後速やかに当社Webサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表等	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10
5. 補足情報	10
(1) 投資の状況	10
(2) 投資先企業の上場状況	11
(3) 投資事業組合の状況	11
(4) 四半期個別財務諸表	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などにより、緩やかな回復基調を見せています。一方、欧州債務問題や中国経済の失速を背景とした世界経済の減速、円高の長期化など依然として先行き不透明感が払拭できない状況にあります。

株式市場におきましては、期初に1万円台前半をつけた日経平均株価が、海外経済の減速懸念から下落し、6月には一時8千円台前半にまで落ち込みました。その後は各国の金融政策への期待と世界経済の減速懸念が交錯し、9千円を挟んで一進一退の値動きとなりました。

新規上場市場におきましては、当第2四半期連結累計期間における新規上場社数が19社と、前年同期の13社より増加し、初値が公募価格を下回った企業も2社に止まるなど、回復の兆候が見えております。しかしながら、新規上場社数が直近ピークであった平成19年3月期第2四半期連結累計期間の83社から大きく減少している点は変わりなく、引き続き新規上場を目指す企業群にとりましては厳しい環境が続いております。

このように当社を取り巻く経営環境が依然として厳しい中、当社は経費水準の抑制を継続する一方、本業であるベンチャー投資事業強化のため、周辺領域への事業展開を進めております。

経費水準については、後述のとおり当第2四半期連結累計期間において営業損失を計上する状態にあるものの、前連結会計年度に続き、資金拠出を伴わない費用を除いた販売費及び一般管理費などの固定的な支出は投資事業組合からの管理報酬を中心とした安定的な収入によって賄っております。

一方、事業展開においては、平成24年8月に盛岡広域地域の起業家や創業間もない企業へ投資するもりおか起業投資事業有限責任組合（以下、「もりおかファンド」という）を設立しました。もりおかファンドは、株式上場を前提としない投資を可能とする仕組みを採用し、また地元の金融機関及び自治体と連携することで、地域密着型の育成支援体制を構築します。こうしたファンドの活動が、創業期の企業支援を強化し、従来型ベンチャーファンドの投資対象となる企業のすそ野を拡げることに繋がります。

当第2四半期連結累計期間における経営成績を見てまいりますと、売上高は170百万円(前年同四半期121百万円)となりました。また、投資損失引当金の新規繰入額が減少したこと等から、営業損失は247百万円(同451百万円)、経常損失は263百万円(同465百万円)、少数株主損失控除後の四半期純損失は44百万円(同55百万円)となりました。

<営業投資有価証券売上高>

当第2四半期連結累計期間における営業投資有価証券売上高は、近く満期を迎える投資事業組合が保有する営業投資有価証券の売却を進めたこと等から、160百万円(前年同四半期96百万円)と、前年同期に比べ64百万円の増収となりました。

(営業投資関連損益の状況)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	増減
営業投資有価証券売上高	96,134	160,566	64,431
営業投資有価証券売却額 (上場)	20,812	1,855	△18,956
営業投資有価証券売却額 (未上場)	71,923	147,419	75,495
営業投資有価証券利息・配当金	3,398	11,291	7,892
営業投資有価証券売上原価	77,141	101,022	23,881
営業投資有価証券売却原価 (上場)	7,384	697	△6,687
営業投資有価証券売却原価 (未上場) (係る投資損失引当金戻入額(△))	668,200 (△598,443)	136,180 (△35,855)	△532,019 (562,588)
減損等 (係る投資損失引当金戻入額(△))	201,333 (△193,429)	1,429,196 (△1,375,668)	1,227,863 (△1,182,238)
投資損失引当金繰入額	293,809	102,441	△191,368
営業投資関連損失(△)	△282,719	△96,425	186,294

(注) 当第2四半期連結累計期間末における営業投資有価証券に対する投資損失引当金の割合は、51.0%(前連結会計年度末56.7%)となりました。

<育成支援・投資助言業務>

当第2四半期連結累計期間における育成支援・投資助言業務による売上高は、8百万円(前年同四半期19百万円)となりました。これは前連結会計年度中にFVCアドバイザーズ株式会社を連結対象範囲から除外したことによるものであります。

(営業収益の内訳)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	
	金額	比率(%)	金額	比率(%)
営業投資有価証券売上高	96,134	78.8	160,566	94.2
育成支援・投資助言業務	19,744	16.2	8,277	4.9
その他	6,105	5.0	1,582	0.9
合計	121,984	100.0	170,426	100.0

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

[資産、負債及び純資産の状況]

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、6,000百万円(前連結会計年度末6,434百万円)となりました。その内訳は流動資産5,960百万円(同6,395百万円)、固定資産40百万円(同38百万円)です。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、1,080百万円(同1,136百万円)となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純損失44百万円を計上したこと、少数株主持分が332百万円減少したこと等に伴い、4,920百万円(同5,297百万円)となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の4.8%から4.4%となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「キャッシュ」という）は、前連結会計年度より89百万円減少し、1,798百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは49百万円のキャッシュアウトフロー（前年同四半期222百万円のキャッシュアウトフロー）となりました。主な内訳は次のとおりであります。（注：△はキャッシュアウトフロー）

・投資実行による支出	△40百万円
・売上等による収入	186百万円
・営業投資有価証券（社債）の償還収入	10百万円
・人件費及び経費の支出	△191百万円
・その他の収支	△14百万円

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは96百万円のキャッシュインフロー（同75百万円のキャッシュインフロー）となりました。これは主に、投資事業組合における定期預金の払戻し100百万円によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは136百万円のキャッシュアウトフロー（同1百万円のキャッシュアウトフロー）となりました。これは主に、少数株主からの払込みによる収入40百万円、借入金の返済42百万円、少数株主に対する分配金の支払133百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、業績予想を行っておりません。詳細は、サマリー情報「3. 平成25年3月期の連結業績予想」のとおりであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成24年6月6日に当社の特定子会社であるフューチャー二号投資事業有限責任組合が全財産の分配を完了したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は前連結会計年度に当期純利益を計上したものの、通算して6期連続で営業損失を計上し、当第2四半期連結累計期間においても営業損失を計上しており、当社が将来にわたって事業活動を継続する前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在しております。しかしながら、当社が計上いたしました損失の主な要因は、当社が管理・運営する投資事業組合において発生している営業投資有価証券売却損失及び投資損失引当金繰入等であり、これらの損失及び費用は、投資事業組合において発生しているため、資金流出を伴わないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は存在しないものと考えております。ただし、投資事業組合において発生しているこれらの損失及び費用は、自己資本の毀損を通じて当社の信用力や上場維持、今後の事業展開等に悪影響を及ぼす可能性があります。そこで当社では、前連結会計年度に実施した第三者割当の資金を活用し、本業であるベンチャー投資事業を補強し、かつ市場環境の変化に過度に左右されない収益構造の実現に寄与する事業の構築を図ります。また、有望なベンチャー企業に対する支援を継続して行うため、平成24年8月に設立したもりおか起業投資事業有限責任組合に続く新規ファンドの設立を目指します。これらの収益力強化の施策と合わせ、引き続き経費水準を抑制することで、営業損益の黒字化を図ります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,388,816	2,198,859
営業投資有価証券	9,204,145	7,665,756
投資損失引当金	△5,220,684	△3,911,601
その他	30,118	14,762
貸倒引当金	△7,045	△7,355
流動資産合計	6,395,350	5,960,421
固定資産		
有形固定資産	9,263	8,428
無形固定資産	1,284	2,187
投資その他の資産	28,336	29,720
固定資産合計	38,884	40,335
資産合計	6,434,234	6,000,757
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	85,380	92,495
預り金	106,095	107,091
繰延税金負債	2,921	2,088
未払法人税等	16,684	9,380
賞与引当金	7,083	4,861
その他	15,163	12,358
流動負債合計	233,328	228,274
固定負債		
長期借入金	874,650	824,845
リース債務	299	—
退職給付引当金	28,256	27,056
固定負債合計	903,206	851,901
負債合計	1,136,534	1,080,176
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,048,609	2,048,609
資本剰余金	763,059	763,059
利益剰余金	△2,499,507	△2,544,020
自己株式	△2,172	△2,172
株主資本合計	309,988	265,475
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	363	95
その他の包括利益累計額合計	363	95
新株予約権	16,729	16,671
少数株主持分	4,970,618	4,638,338
純資産合計	5,297,700	4,920,580
負債純資産合計	6,434,234	6,000,757

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高		
営業投資有価証券売上高	96,134	160,566
コンサルティング収入	19,744	8,277
その他の売上高	6,105	1,582
売上高合計	121,984	170,426
売上原価		
営業投資有価証券売上原価	876,917	1,566,074
投資損失引当金戻入額(△)	△498,063	△1,309,082
その他の原価	105,855	89,583
売上原価合計	484,709	346,575
売上総損失(△)	△362,724	△176,149
販売費及び一般管理費	88,800	71,636
営業損失(△)	△451,525	△247,786
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,104	158
その他	3,210	1,099
営業外収益合計	7,315	1,257
営業外費用		
支払利息	19,106	16,352
その他	1,696	274
営業外費用合計	20,803	16,627
経常損失(△)	△465,013	△263,155
特別利益	1	—
特別損失	—	178
税金等調整前四半期純損失(△)	△465,012	△263,334
法人税、住民税及び事業税	7,069	14,064
法人税等合計	7,069	14,064
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△472,081	△277,398
少数株主損失(△)	△416,240	△232,885
四半期純損失(△)	△55,840	△44,513

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△472,081	△277,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,592	△1,772
その他の包括利益合計	△4,592	△1,772
四半期包括利益	△476,674	△279,171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△56,416	△44,781
少数株主に係る四半期包括利益	△420,257	△234,390

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△465,012	△263,334
減価償却費	5,416	1,518
株式報酬費用	3,180	—
受取利息及び受取配当金	△7,503	△11,449
支払利息	19,106	16,352
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	762,539	1,538,388
投資損失引当金の増減額(△は減少)	△498,063	△1,309,082
賞与引当金の増減額(△は減少)	224	△2,222
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,800	△1,200
未収入金の増減額(△は増加)	6,828	14,947
未払金の増減額(△は減少)	△2,595	△1,931
預り金の増減額(△は減少)	△101,735	995
その他	82,172	△18,182
小計	△199,241	△35,200
利息及び配当金の受取額	6,266	11,860
利息の支払額	△18,892	△16,257
法人税等の支払額	△10,383	△10,097
営業活動によるキャッシュ・フロー	△222,251	△49,694
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500,000	—
定期預金の払戻による収入	600,000	100,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,625	△1,722
敷金及び保証金の回収による収入	88	—
出資金の払込による支出	—	△2,200
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△16,345	—
その他	△6,701	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	75,415	96,077
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△41,250	△42,690
株式の発行による収入	128,214	—
社債の償還による支出	△5,000	—
少数株主からの払込みによる収入	301,150	40,000
少数株主に対する分配金による支出	△377,002	△133,262
その他	△7,670	△386
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,557	△136,338
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△148,394	△89,956
現金及び現金同等物の期首残高	2,775,393	1,888,816
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,626,999	1,798,859

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ベンチャー キャピタル事業	コンサルティング 事業	計			
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	109,367	12,617	121,984	121,984	—	121,984
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	625	1,500	2,125	2,125	△2,125	—
計	109,992	14,117	124,109	124,109	△2,125	121,984
セグメント利益又は 損失(△)	△453,956	2,250	△451,705	△451,705	180	△451,525

(注)1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書計上額の営業損失(△)と一致しております。

2. FVCアドバイザーズ株式会社(以下、「同社」という)は、第1四半期連結会計期間の末日に、当社が保有する同社株式の一部を譲渡したものとみなし、連結の範囲から除外しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループは単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結累計期間において区分表示しておりました「コンサルティング事業」は、セグメント区分を廃止しております。これは同事業を構成していた子会社であるFVCアドバイザーズ株式会社(以下、「同社」という)について、当社が保有する同社株式の一部を売却したことにより連結子会社に該当しなくなったため、連結の範囲から除外したことによるものであります。

この変更により、当社グループは単一セグメントになることから、当第2四半期連結累計期間のセグメントの記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 投資の状況

当第2四半期連結累計期間における当社の投資実行の状況は、1社、40百万円(前年同四半期6社、141百万円)となり、前年同四半期に比べ、5社、101百万円減少しております。また、当第2四半期連結会計期間末における投資残高は112社、7,665百万円(前連結会計年度末129社、9,204百万円)となりました。

①証券種類別投資実行額

証券種類	投資実行額			
	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	
	金額(千円)	投資企業数(社)	金額(千円)	投資企業数(社)
株式	26,780	3	20,000	1
社債等	114,980	4	20,000	1
合計	141,760	6	40,000	1

(注) 投資企業数の合計値は、株式、社債等双方に投資している重複社数を調整しております。

②証券種類別投資残高

証券種類	投資残高			
	前連結会計年度末 (平成24年3月31日)		当第2四半期連結会計期間末 (平成24年9月30日)	
	金額(千円)	投資企業数(社)	金額(千円)	投資企業数(社)
株式	8,702,891	123	7,154,502	103
社債等	501,254	21	511,254	22
合計	9,204,145	129	7,665,756	112

(注) 投資企業数の合計値は、株式、社債等双方に投資している重複社数を調整しております。

(2) 投資先企業の上場状況

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

当第2四半期連結累計期間において、新たに上場した投資先企業はありません。

(3) 投資事業組合の状況

当第2四半期連結会計期間末の当社が管理・運営する投資事業組合は25組合、28,101百万円(前連結会計年度末25組合、29,051百万円)となりました。

	前連結会計年度末 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (平成24年9月30日)
投資事業組合出資金総額 (百万円)	29,051	28,101
投資事業組合数 (組合)	25	25

- (注) 1. 子ファンドは含めておりません。
 2. 「投資事業組合出資金総額」は、コミットメント総額であります。
 3. 以下4組合は、期間満了により解散いたしました。当第2四半期連結会計期間末においては清算期間中であるため、投資事業組合出資金総額及び投資事業組合数に含めております。
 ・フューチャーエンジェル一号投資事業有限責任組合(期間満了日：平成23年4月22日)
 ・フューチャー四号投資事業有限責任組合(期間満了日：平成23年7月13日)
 ・フューチャー五号投資事業有限責任組合(期間満了日：平成24年1月17日)
 ・フューチャー六号投資事業有限責任組合(期間満了日：平成24年7月28日)

①出資金総額が増加した投資事業組合

当第2四半期連結累計期間において出資金総額が増加した投資事業組合は、以下の1組合であります。

(単位：百万円)

投資事業組合名	増加した出資金額	増加の理由
もりおか起業投資事業有限責任組合	50	新設
合計(1組合)	50	

②出資金総額が減少した投資事業組合

当第2四半期連結累計期間において出資金総額が減少した投資事業組合は、以下の1組合であります。

(単位：百万円)

投資事業組合名	減少した出資金額	減少の理由
フューチャー二号投資事業有限責任組合	1,000	全財産の分配完了
合計(1組合)	1,000	

(4) 四半期個別財務諸表

四半期財務諸表は法定開示におけるレビューの対象ではありません。

「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に従い作成しております。

①四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	516,949	451,490
営業投資有価証券	1,966,445	1,658,088
投資損失引当金	△ 1,114,726	△841,315
その他	46,016	30,538
貸倒引当金	△ 7,078	△7,388
流動資産合計	1,407,606	1,291,413
固定資産		
有形固定資産	9,263	8,428
無形固定資産	1,284	2,187
投資その他の資産	28,336	29,720
固定資産合計	38,884	40,335
資産合計	1,446,491	1,331,749
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	85,380	92,495
未払法人税等	16,684	9,380
賞与引当金	7,083	4,861
前受金	100,134	92,062
その他	17,391	15,178
流動負債合計	226,672	213,978
固定負債		
長期借入金	874,650	824,845
退職給付引当金	28,256	27,056
その他	299	—
固定負債合計	903,206	851,901
負債合計	1,129,878	1,065,879

(単位：千円)

	前会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,048,609	2,048,609
資本剰余金		
資本準備金	763,059	763,059
資本剰余金合計	763,059	763,059
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△ 2,509,976	△ 2,560,314
利益剰余金合計	△ 2,509,976	△ 2,560,314
自己株式	△ 2,172	△ 2,172
株主資本合計	299,519	249,181
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	363	16
評価・換算差額等合計	363	16
新株予約権	16,729	16,671
純資産合計	316,612	265,869
負債純資産合計	1,446,491	1,331,749

②四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高		
投資事業組合管理収入	192,562	166,756
営業投資有価証券売上高	8,535	17,691
コンサルティング収入	7,752	8,277
その他の売上高	5,731	1,556
売上高合計	214,582	194,281
売上原価		
営業投資有価証券売上原価	145,852	298,375
投資損失引当金戻入額(△)	△ 103,137	△ 273,410
その他の売上原価	123,605	128,657
売上原価合計	166,319	153,622
売上総利益	48,262	40,659
販売費及び一般管理費	83,499	69,681
営業損失(△)	△ 35,237	△ 29,022
営業外収益	3,497	1,206
営業外費用	20,759	16,627
経常損失(△)	△ 52,498	△ 44,443
特別利益	2	—
特別損失	—	178
税引前四半期純損失(△)	△ 52,495	△ 44,622
法人税、住民税及び事業税	5,405	5,714
四半期純損失(△)	△ 57,901	△ 50,337